

まちの先生講座 講座企画書

講師名 宮越 喜彦 (入間市の文化遺産をいかす会)

講師紹介 (自己紹介)

当会の主活動エリア(豊岡・黒須・扇町屋・東町)に残る文化遺産・記憶遺産についての掘り下げとその記録化を行っています。講座は昨年と同様のテーマですが、その後新たな資料なども発掘しており、広く深く「あのころ」を考えていきたいと思えます。



講座名 ジョンソン基地時代を考える
「あのころ入間にはアメリカがあった」

PRポイント

敗戦直後、進駐軍が豊岡町に侵攻し、フェンスの中には異文化が存在しました。この強烈なインパクトが現在の私たちの町にどのようにつながっているのかを考えます。

講座内容 ※日程は講座パンフレットでご確認ください。

【1コマ目】

昭和20年、敗戦直後の混乱の中で、陸軍航空士官学校があった豊岡町(現入間市)に何が起こっていたのか。ジョンソン基地のあった時代を時系列に現在に至るまでの流れで見えていきます。

【2コマ目】

ジョンソン基地のネットフェンスの内側には何があったのか? また、その外側には何ができていたのか? 言い伝えとして聞き及んでいる断片はありますが、可能な限り資料を提示しながら、知らなかったネットフェンスの内側と外側の様子を確認します。

【3コマ目】

稲荷山公園、修武台記念館、彩の森公園、ジョンソンタウンなどには、今でも当時の痕跡を見ることができます。時間の流れの中でどのように現在に至っているのか、見学のポイントなどを含めて考えてみたいと思えます。

受講者に持参してもらう物

筆記具。
※ジョンソン基地時代の写真や資料をお持ちの方はぜひともお持ちください。

使用教材

毎回の配布資料

関連情報

・参考教材「あのころ入間にはアメリカがあった」
入間市図書館蔵 ※増刷頒布予定あり

